



ばななぐみだより

令和6年10月17日

社会福祉法人まほろば 湊こども園

夏とは違う空の様子や風の心地良さに気づき、知らせてくれる子どもたち。少しずつ季節が進んでいく様子を子どもたちなりに感じているようです。最近は気づいたことを保育者に伝えたり、不思議に思ったことを図鑑で調べたり、保育者に聞いたりすることが多くなってきました。知的好奇心の高まりに子どもたちの成長を感じます。これからも子どもたちの知りたい！を大切にしていきたいと思います。



運動会の練習は毎日「今日は何の練習する？」と楽しみにしながら頑張ってきました。

バルーン

子どもたちが大好きなバルーン。回数を重ねるごとにどんどん上手になってきました！
ある日の練習中、子どもたち同士で「がんばろう！」と声を掛け合う姿が見られました。みんなで技を作り上げていくうちに一緒にする楽しさを感じ、力を合わせたら出来る！ということもわかったようで嬉しく思いました。

技の1つの『かくれんぼ』はバルーンの上に立ち、みんなとタイミングを合わせて上げ下げするのがとても

難しかったので何度も練習をし、初めてできた時はみんなで喜びました！

また、演技の途中で、子どもたちがダンスをする場面があります。

元気一杯に踊る様子を見ていると初めに伝えたものに

アレンジが加わっていましたが、それがかわいいので取り入れることに

しました。本番も楽しくできたらいいなと思います♪



器械体操

4月から繰り返し練習してきた跳び箱(3段・4段)・マット(前転)・鉄棒(前回り)。
練習をしていく中で、ポーズはどうする?とみんなで話し合いました。自分の意見を発表することはまだまだ難しく、時間はかかりましたが、ちらほらと「こんなの?」とアイデアが出てきました!子どもたちが一生懸命考えて決めたポーズも見どころの1つです☆

運動会でうちの人の見てもらおう!と伝えると 格段に意欲が高まり、思っている通りに出来なくてもくじけることなく、もっとやる!と挑戦する姿は頼もしかったです。

鉄棒

始めのころは腕の力があまりなく、鉄棒に跳び乗ることが難しく苦戦していました。

体育教室でのアドバイスによって、マットを2枚重ねて敷き、棒との距離を縮めることから始めてみると、次第にしっかりと跳び乗れるようになりました。また、回ることへの恐怖心がある子どもは体に力が入りすぎて上手く回れません。布団を干した時のようにぶらんと体の力を抜くことを伝えると、感覚が少しずつ身についていき、恐怖心もおさまって、軽やかに回れるようになってきました。

今はそっと降りることを意識して練習を続けています。

どのポーズになったでしょう?



マット

前転をするときにおへそを見て回るというポイントを教えてもらうと、「ダンゴムシみたいやなっ!」と楽しみながら取り組んでいました。子どもたちにとって馴染みのあるダンゴムシのイメージがすぐに定着して、まっすぐに回転できるようになり、「もう一回!」とマットの楽しさを知ったようです。

さらに回るときにおしりを高く上げすぎないこと、回り終わったらすぐにおしりをあげることを知ると、くるんと上手に回ってすぐに立てるようになりました。

とび箱

手をつくところに印をつけ、踏切板の両足ジャンプをうまく出来るようにいろいろな工夫をしてきました。子どもたちの努力が実り、成功率も高くなっています♪また、友達が跳ぶ姿を見て、「すごーい!」「上手!!」と自然と拍手が起こることもありました。



本番では自分の最大の力が発揮できますように ✨